## 3 ベクトル積(外積)

a,b を 2 つの空間ベクトルとする. このとき, 次の条件 (i)(ii) を満たすベクトル x を a,b の ベクトル積(または 外積) といい,  $x=a\times b$  と書く:

- (i) x の大きさは、a,b の張る平行四辺形の面積に等しい<sup>1</sup>
- (ii) x の向きは, a, b 両方に直交し, さらに, a, b, x がこの順序で右手系をなすような向きである.

すると、ベクトル積の性質として、反対称性や2 重線形性 (双線形性ともいう) が成立する $^2$ :

- (1)  $\mathbf{a} \times \mathbf{b} = -\mathbf{b} \times \mathbf{a}$ .
- (2)  $(a + b) \times c = a \times c + b \times c$ ,  $a \times (b + c) = a \times b + a \times c$ .
- (3) 任意の実数 r に対し,  $(ra) \times b = a \times (rb) = r(a \times b)$ .

また、前回考えた符号付き体積 V(a,b,c) とは次のような関係がある:

(4)  $V(\boldsymbol{a}, \boldsymbol{b}, \boldsymbol{c}) = (\boldsymbol{a} \times \boldsymbol{b}) \cdot \boldsymbol{c}$ .

基本ベクトル  $e_1, e_2, e_3$  については、次が成り立つ:

(5) 
$$e_1 \times e_2 = e_3$$
,  $e_2 \times e_3 = e_1$ ,  $e_3 \times e_1 = e_2$ .

演習 3.1 
$$m{a}=\left(egin{array}{c} a_1 \\ a_2 \\ a_3 \end{array}\right),\, m{b}=\left(egin{array}{c} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{array}\right)$$
 とするとき、上記の性質を用いて、

$$oldsymbol{a} imes oldsymbol{b} = \left| egin{array}{cc|c} a_2 & b_2 \\ a_3 & b_3 \end{array} \right| oldsymbol{e}_1 + \left| egin{array}{cc|c} a_3 & b_3 \\ a_1 & b_1 \end{array} \right| oldsymbol{e}_2 + \left| egin{array}{cc|c} a_1 & b_1 \\ a_2 & b_2 \end{array} \right| oldsymbol{e}_3$$

となることを示せ.

演習 3.2 4 点 (1,1,2), (5,4,1), (3,-5,-1), (2,-2,1) を頂点とする四面体の体積を求めよ.

 $<sup>^1</sup>$ 面積が $^0$ の場合 $^{\prime}(a,b)$ が平行,または, $^{\prime}a,b$ のどちらかが $^{\prime}0$ の場合 $^{\prime}$ は, $^{\prime}a\times b=0$ とする.

<sup>2(1)(3)</sup> は定義から容易に分かる. (2) はそれほど明らかでないので、次の (4) と合わせて講義で詳しく説明する.